

「おすそわけ」活動

毎週水曜日には「おすそわけ」活動を行っています。

1食300円で利用者一人ひとりにおかずを届けます。

1回の利用者は約120人。

年間6000食ものおかずを地域の人に届けます。



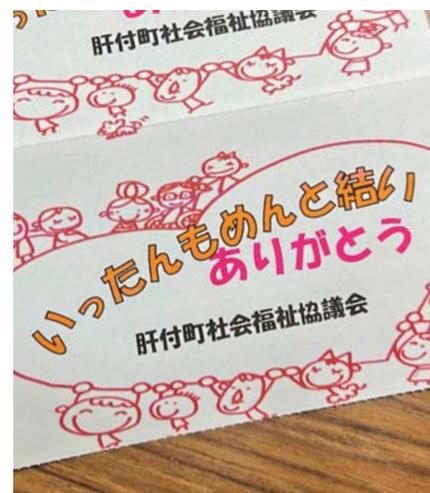
▶毎週変わるメニューは結いの家の皆さんが考えます



▲配達に行く時、時間に合わせて玄関口で座って待っている人も。

配達をしながら世間話をして、地域の見守りも行います。

お弁当を受け取った皆さんは、「とってもおいしいです」「毎日してほしくらい」と話されました。



コロナ禍を経て

5年前に「子育て世代のいる地域にしたい」という思いからなにをしたらいいかをみんなで考えて活動を始めた。いったんもめんと結いの家。

精神的に活動を進める中で、大学や県から視察が来るなど、地域支援のモデル事業としても注目されています。

しかしながら、コロナ禍になり、思うように活動ができない時期もありました。

しかしながら、再開を期待する地域の人たちの声を受け、活動を再開し、毎月、毎週、地域の人たちにお弁当を届けています。

地域の人などおすそわけ

結いの家は、地域の方が使ってくださいと無償で提供され、いったんもめんと結いの会のボランティア活動や地域の集う場になっています。

また、たくさんのお弁当を作るためには、たくさんの方々の協力が必要です。そこで生み出された「ありがとう券」。地域の方が作った農作物を寄付頂くと1枚お渡しし、3枚たまるとお弁当1個と引き換えです。

いったんもめんと結いの家の方々に通じて地域の「ありがとう」が循環し、地域に笑顔が届いています。

